



2011年3月期第2四半期決算説明会 経営概況

2010年11月1日

株式会社 I H I

代表取締役社長 釜 和明

経営概況

- 2011年3月期第2四半期決算レビュー P. 4～6
- 2011年3月期業績見通し P. 7
- 当面の経営課題 P. 8
- 「グループ経営方針2010」目標数値 P. 9～12

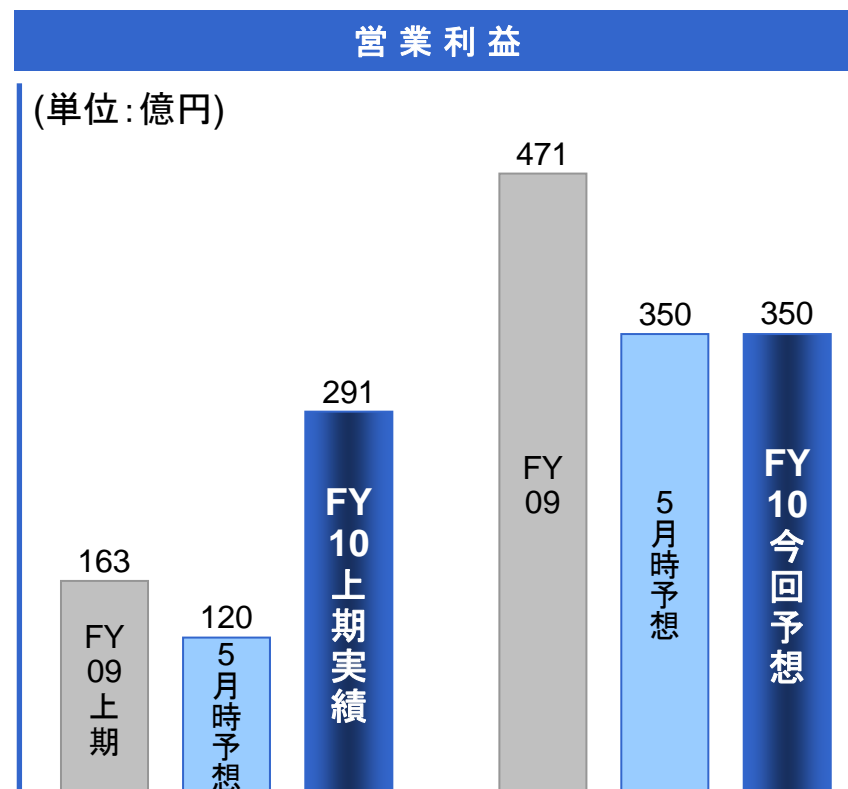
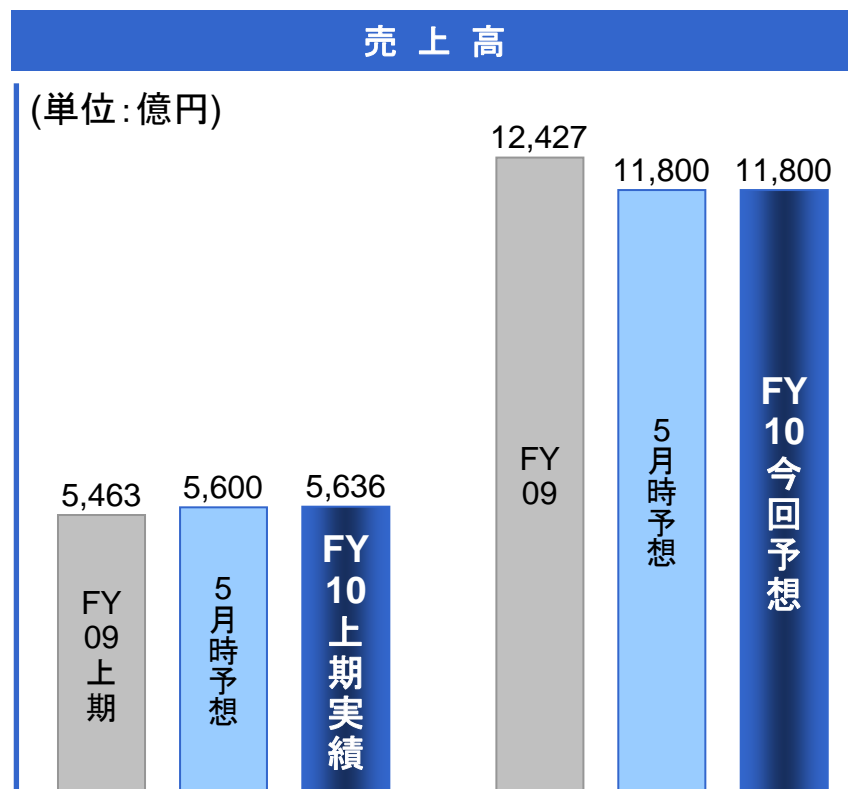
「グループ経営方針2010」進捗状況

- グループ共通の施策 P. 14
- 資源・エネルギー事業 P. 15
- 船舶・海洋事業 P. 16
- 物流・社会基盤事業 P. 17
- 回転・産業機械事業 P. 18
- 航空・宇宙事業 P. 19
- その他事業 P. 20

經營概況

■ 「グループ経営方針2010」は順調にスタート

- 上期は計画以上の売上高, 営業利益, 営業利益率
- 為替前提変更(¥90/US\$→¥85/US\$)も, 通期業績予想は据置き



■ 2011年3月期第2四半期の営業利益増減分析(5月時予想対比)

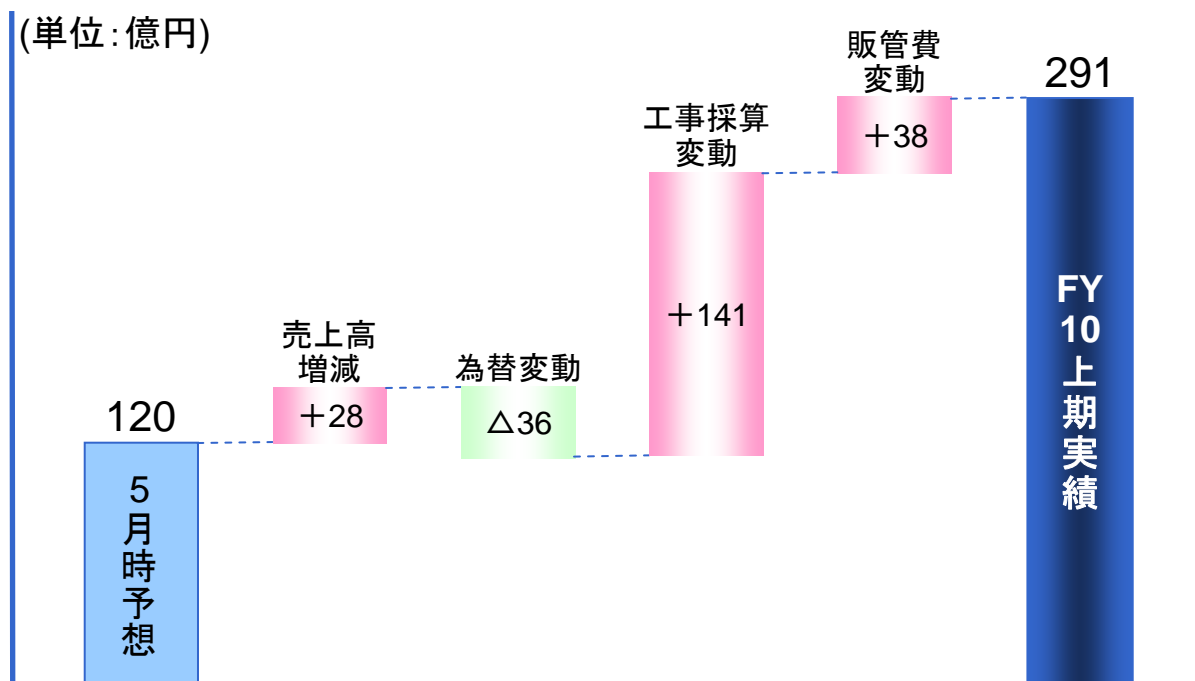
ー全事業(セグメント)において堅調な利益を計上ー

➤ 売上高の増減

✓ 回転・産業機械事業

➤ 工事採算の変動

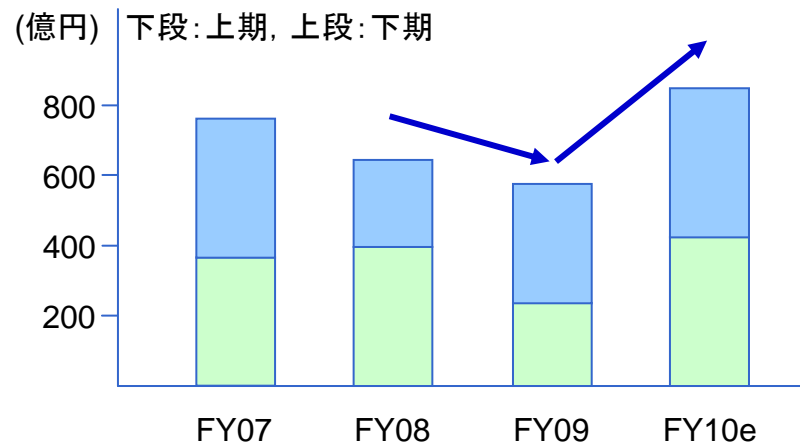
✓ 資源・エネルギー事業, 物流・社会基盤事業, 他



■ ターボチャージャの売上高増加

- リーマンショック前を越える水準に回復
- 新興国向けを中心に計画比10%増加

ターボチャージャ販売推移



■ 工事採算の良化

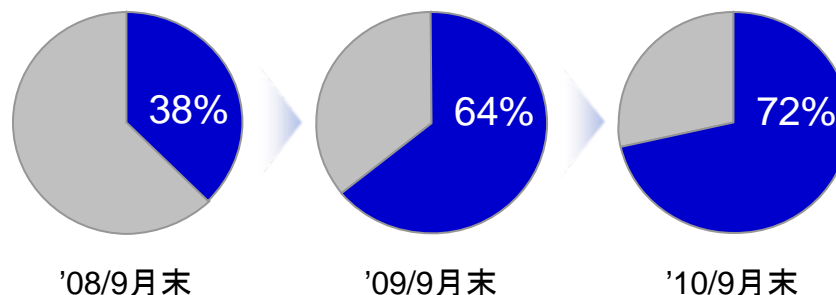
- アフターサービス工事が増加

主な取組み

- 既納設備に対する, 長寿命化提案などの展開
- 遠隔管理システムの開発推進
・導入による, ライフサイクルを通じた運用性向上の促進

- 内部管理体制再構築後に採算管理を徹底

受注残に占める'08/1月後の受注案件の比率



■ 2011年3月期の営業利益予想増減分析(5月時計画対比)

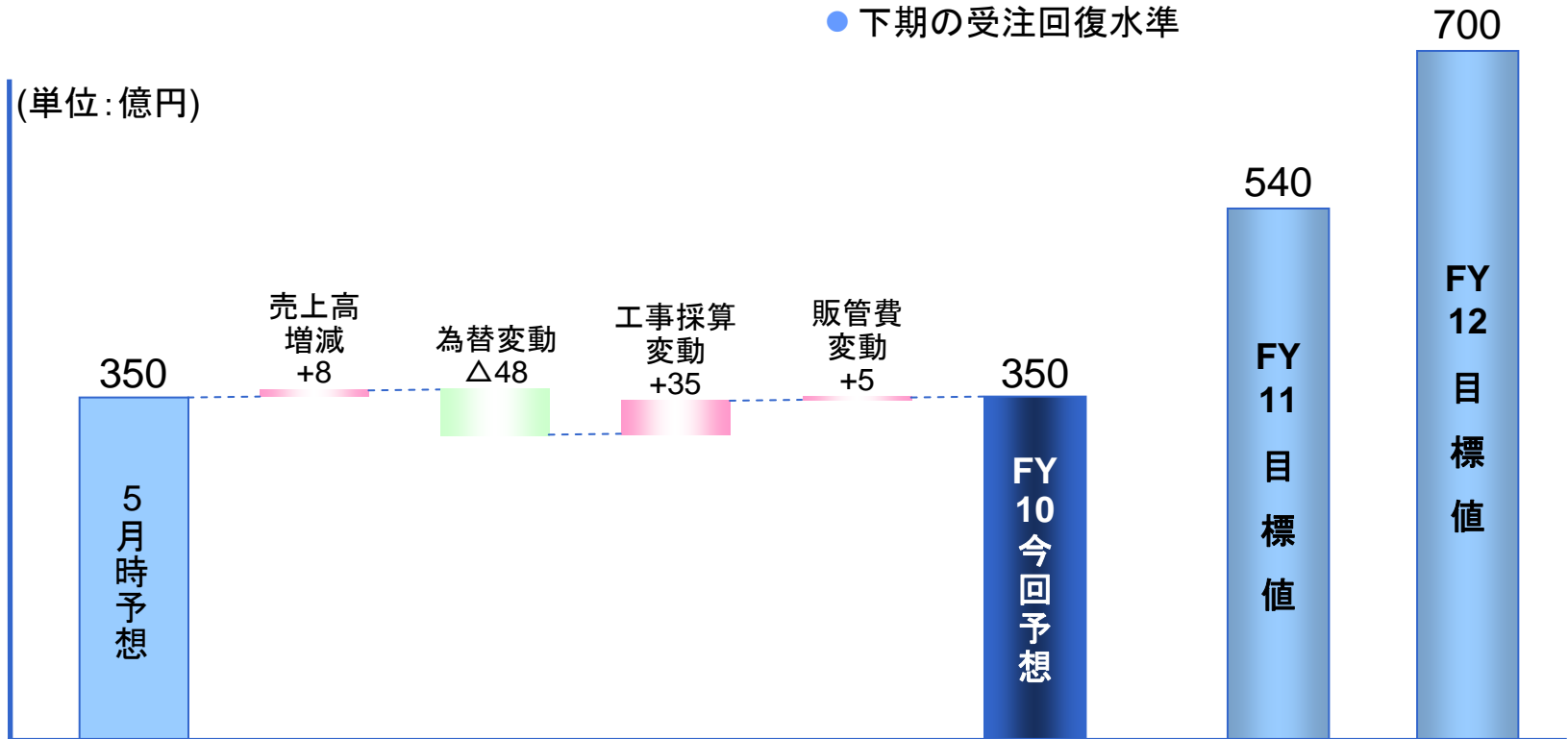
▶ 5月時予想からの変化

● ポジティブ

- 2QT営業利益増加要因
(売上高の増減, 工事採算の変動)

● ネガティブ, 不透明

- 為替円高
- 受注環境悪化
- 下期の受注回復水準



■ 為替円高対策

➤ 海外生産の拡大

- 欧州(車両過給機), 中国(車両過給機・回転機械), インドネシア(ボイラ)など
- FY12目標: 海外関係会社売上高50%増加(FY09比)

➤ 海外調達拡大加速

- アジア総支配人を中心に調達ネットワークを拡充
- インド('10.4月設置済), ベトナム('11.4月予定), 台湾(FY11予定)

■ 受注量確保に向けて

投資の二極分化の進展

日本を含む先進諸国: 投資低迷続く
中国・インド等新興国: 旺盛な投資

円高に伴う日本企業の海外投資拡大

強化中の対策

- 既納設備のメンテナンス・改造案件に注力
- エネルギー, インフラ関連を中心に新設案件に注力(新興国)
- 日本企業の海外投資案件に注力
(特に産業機械・回転機械・物流システムなどの生産設備)
- お客様のニーズにあった最適船種の提案

「グループ経営方針2010」目標数値(売上高, 営業利益)

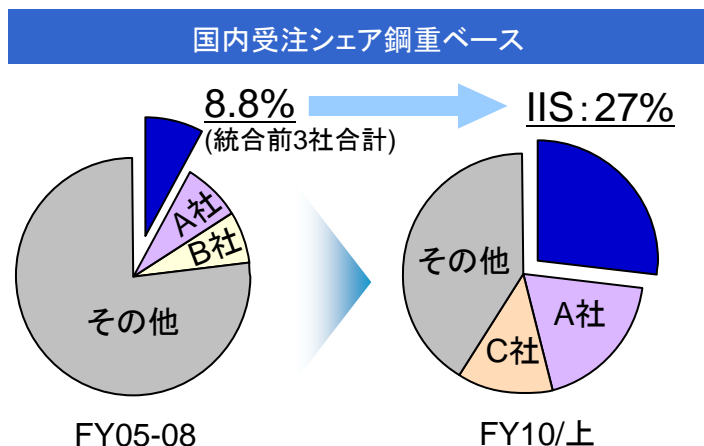


(単位: 億円)

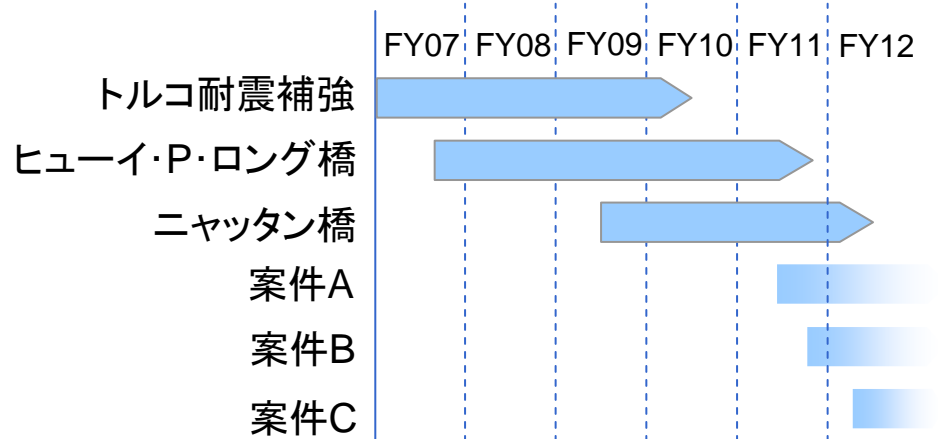
| | 売上高 | | | | 営業利益 | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|
| | 2010年度 | | 2011年度 | 2012年度 | 2010年度 | | 2011年度 | 2012年度 |
| | 5月時 | 今回 | | | 5月時 | 今回 | | |
| 資源・エネルギー | 3,100 | 3,000 | 3,600 | 3,800 | 160 | 150 | 190 | 220 |
| 船舶・海洋 | 1,800 | 1,800 | 1,600 | 1,500 | 100 | 60 | 100 | 70 |
| 物流・社会基盤 | 2,200 | 2,200 | 2,400 | 2,500 | 70 | 95 | 110 | 130 |
| 回転・産業機械 | 1,700 | 1,800 | 2,200 | 2,600 | 30 | 70 | 100 | 160 |
| 航空・宇宙 | 2,800 | 2,800 | 3,000 | 3,200 | 20 | 0 | 60 | 130 |
| その他 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,400 | 20 | 25 | 30 | 40 |
| 調整 | -1,000 | -1,000 | -1,000 | -1,000 | -50 | -50 | -50 | -50 |
| 合計 | 11,800 | 11,800 | 13,000 | 14,000 | 350 | 350 | 540 | 700 |

■ 物流・社会基盤事業の成長要因

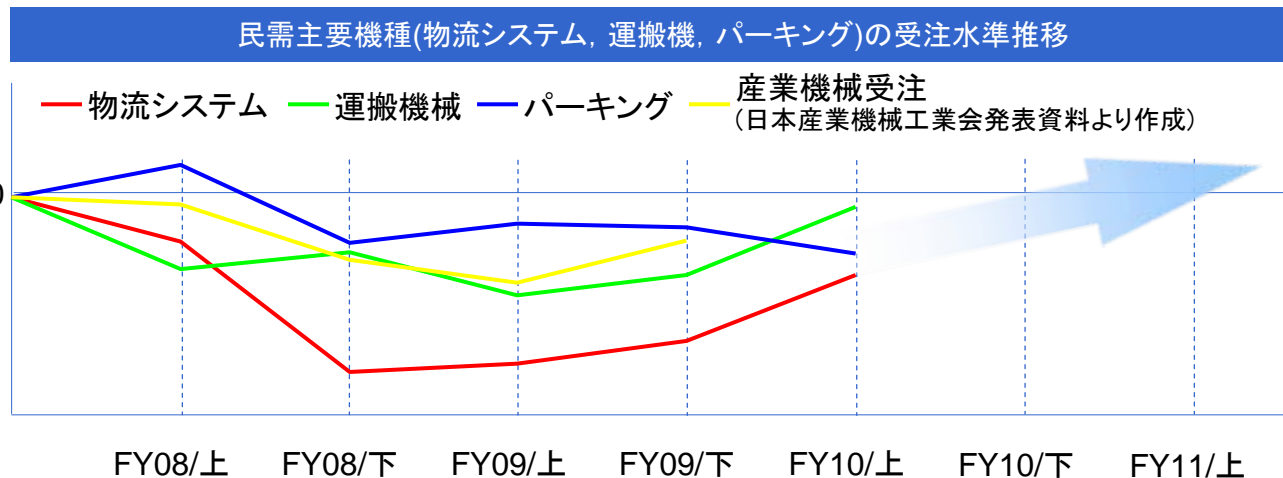
➤ IIS設立によるシナジー効果の発現



➤ 鋼製橋梁の海外案件増加

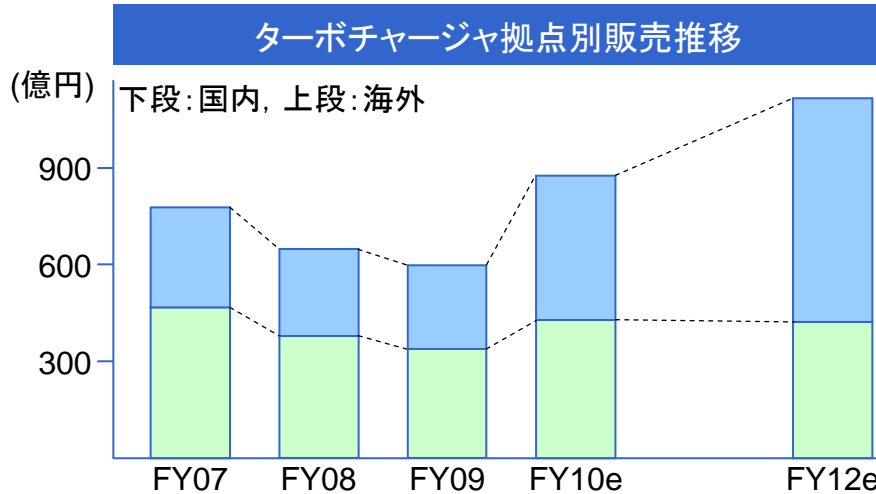


➤ 民需受注は最悪期を脱し、下期以降の回復水準に注目



■ 回転・産業機械事業の成長要因

▶ ターボチャージャの力強い回復傾向

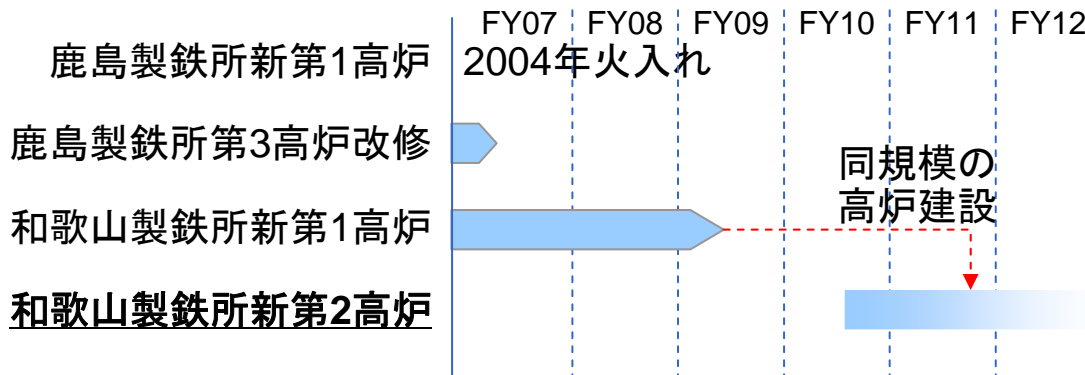


ターボチャージャ市場拡大要因

- 厳しい燃費規制の潮流
- エンジンの小型化, ガソリンエンジンのターボチャージャ搭載が本格化
- 中国をはじめとする新興国市場の拡大

▶ 次期国内高炉案件の売上貢献

住友金属工業(株)殿向け高炉案件



—参考—

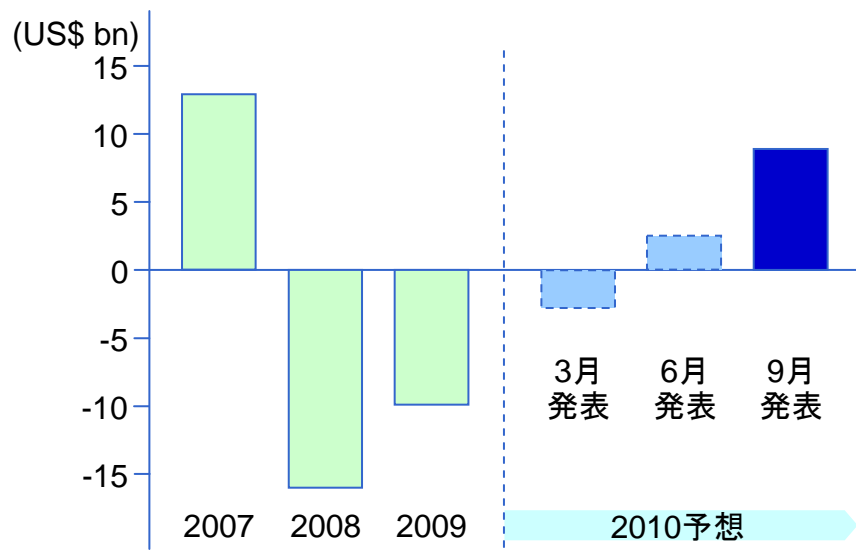
和歌山製鉄所新第1高炉建設の概要
(住友金属工業(株)殿HPより抜粋)

建設費用 : 510億円
 工期 : 2006年11月～2009年7月
 能力 : 7,500トン/日
 炉内容積 : 3,700m³

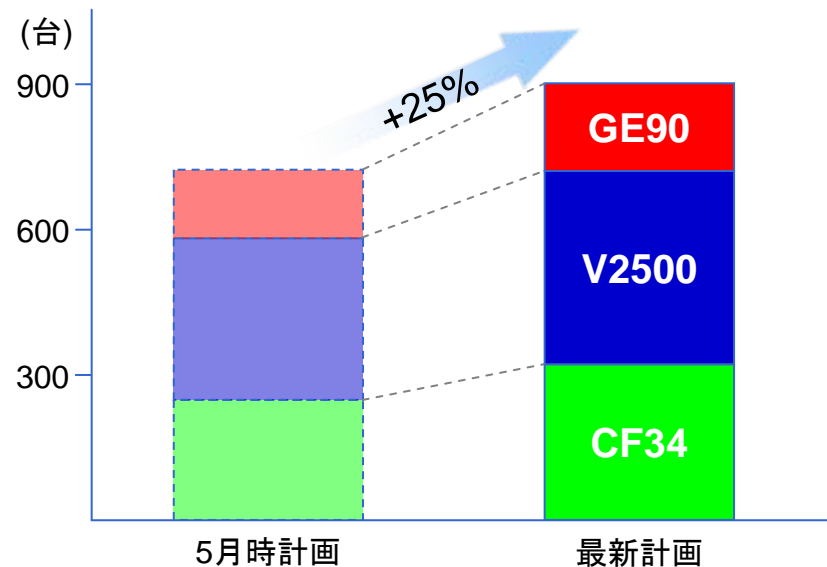
■ 航空・宇宙事業を取り巻く環境

➤ 航空業界は想定以上の回復基調

世界の民間エアラインの純損益推移(出所: IATA)



民間航空エンジンFY11生産計画



➤ GENx出荷スケジュールの変更可能性

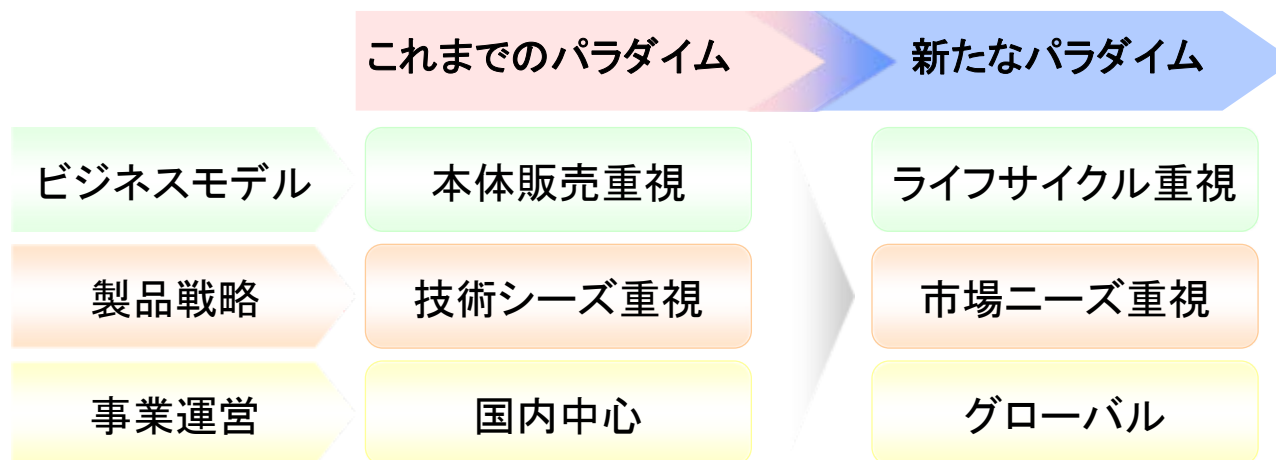
＜5月時計画スケジュール＞

- ✓ GENx-1B搭載B787 : '10.10月就航予定
- ✓ GENx-2B搭載B747-8 : '10.12月就航予定

- B787初納入延期決定に伴い, GENx搭載機初就航時期延期が濃厚
- 出荷スケジュール, 原価低減(習熟効果)時期を再精査中

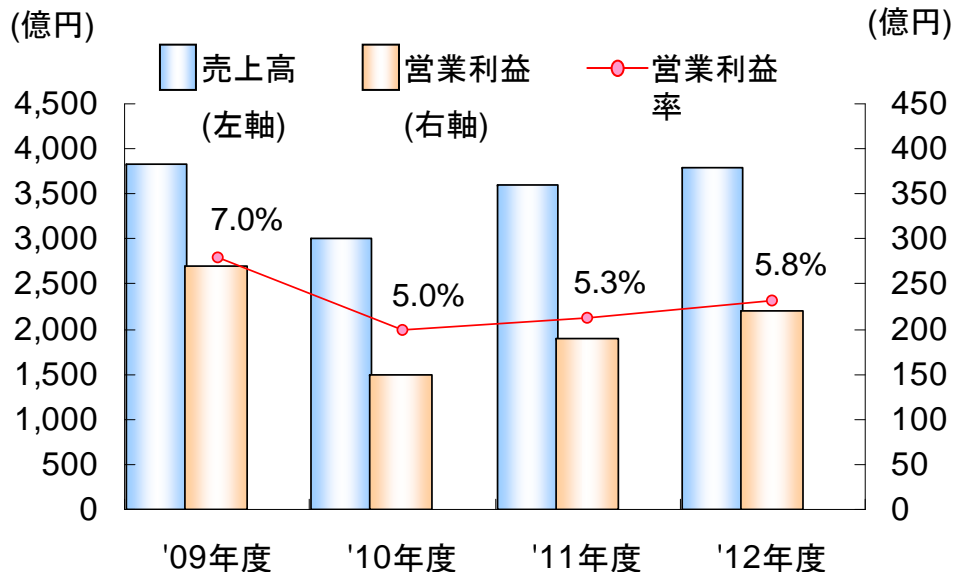
「グループ経営方針2010」進捗状況

■ コンセプト：“パラダイムシフト”



■ グループ共通の施策

- ▶ グローバル化推進
- ▶ グループの総合営業力強化
- ▶ 社会環境に適合したコア技術強化
- ▶ 新事業のインキュベーション強化
- ▶ CSRの推進
- ▶ 内部管理体制の維持・深化



基本戦略

- ✓ 差別化した製品・サービスの提供
- ✓ ライフサイクルビジネスの拡大による収益基盤の強化
- ✓ 海外工事の確実な遂行
- ✓ エネルギー分野における新規事業の開拓

原子力発電所向け機器製造会社「IHI・東芝パワーシステム(株)」設立('11.1月予定)

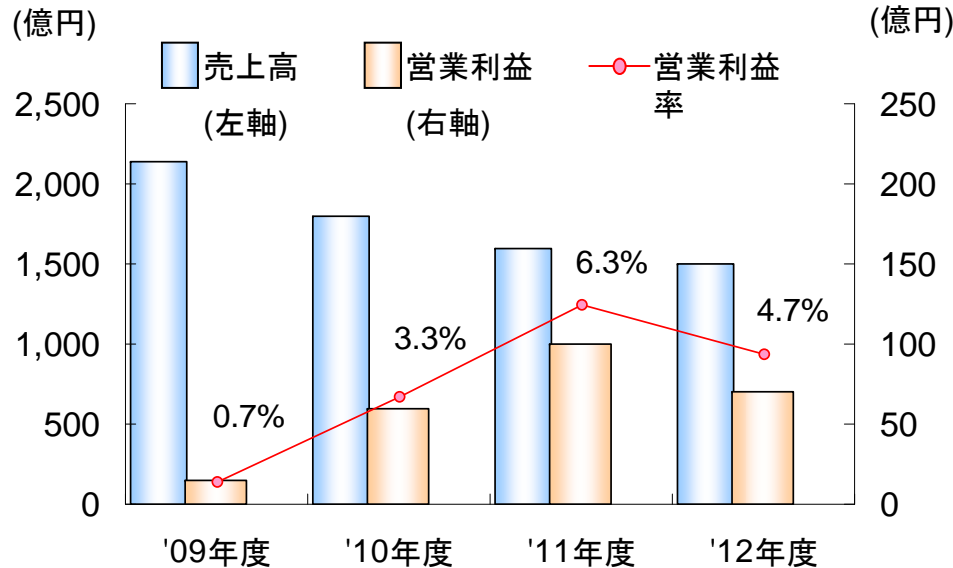
- (株)東芝が手掛ける原子力発電所向け蒸気タービンのケーシング・ノズル等を供給, '11.4月から本格操業開始

発電用ガスタービンのメンテナンス体制を強化

- 安定収益が見込めるメンテナンス事業に注力, 事業規模拡大を目指す
- 豪州拠点('10.4月開設), タイ拠点('10年内予定)

F-LNG本格参入に向けた取り組み

- ブラジル・ペトロブラス案件のFEED(基本設計)に参画(当社独自のSPBタンク部分)



基本戦略

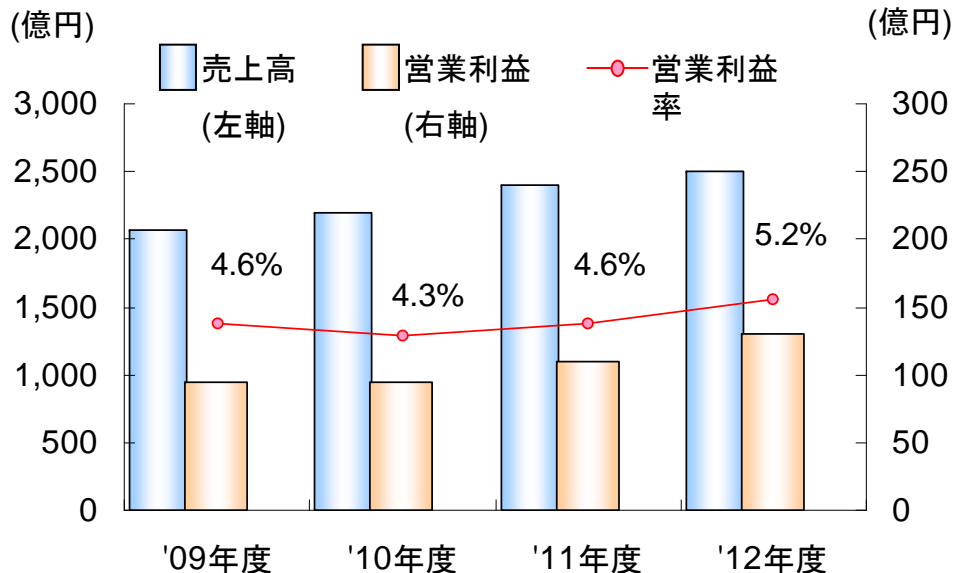
- ✓ 市場ニーズ重視の製品戦略の推進
- ✓ エンジニアリング事業の強化
- ✓ ライフサイクルビジネス事業の拡大

環境負荷30%低減を実現した画期的なコンテナ船を開発

- 船体抵抗の低減, 推進効率・エネルギー効率の向上, 自然エネルギーの有効活用を実現
- 燃料費および温暖化ガス排出量を従来型に比べ30%削減

受注案件の多様性並びに生産性向上の為に設備投資を実施

- 横浜工場: 新基準対応の塗装工場を新設
 主要設備を更新・導入し, リードタイム短縮により多様な案件へ対応
- 呉工場: 修繕を含めた多様な需要に柔軟に対応するため, 既存ドックに中間ゲートを設置



基本戦略

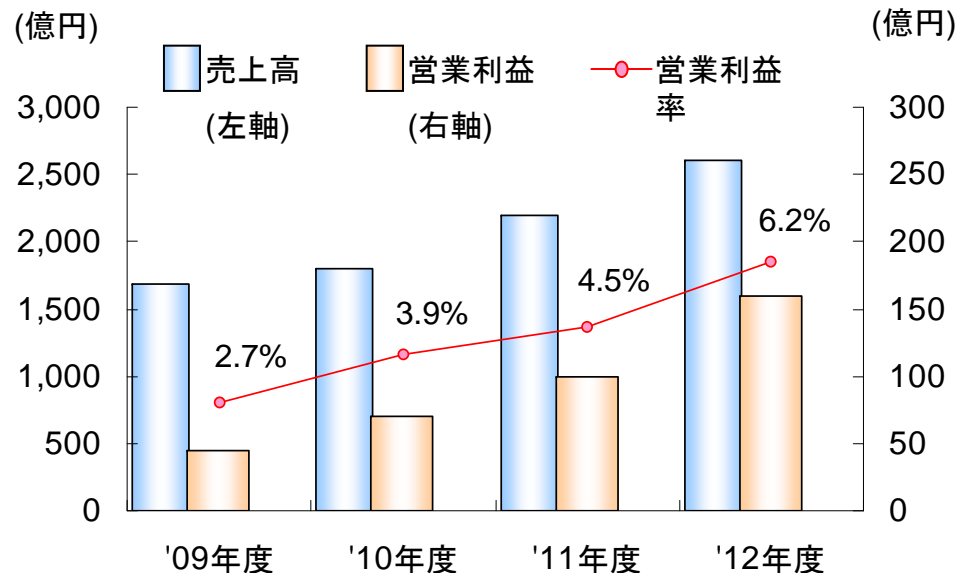
- ✓ 現地拠点を活用した海外市場への積極的な進出
- ✓ 技術・コスト・サービス面の差別化による受注の確保
- ✓ 都市開発事業の安定的収益の創出と段階的な売上拡大

IHIインフラシステムが受注堅調

- 3社統合の効果が顕在（今年度上期時点で、国内橋梁案件において受注実績トップシェア確保）
- 東海環状自動車道関連工事受注により'11.2月以降2交代制を実施
- 今後の海外大型プロジェクトに対応するため受注・施工体制を整備

豊洲3-1街区に大規模オフィスビル「豊洲フロント」が竣工（'10.8月）

- 利便性の高い立地と国内最大級のフロアプレートを兼ね備え、多様なオフィス空間ニーズに対応
- 優良テナントとの長期契約締結により、FY11から本格的に収益に貢献



基本戦略

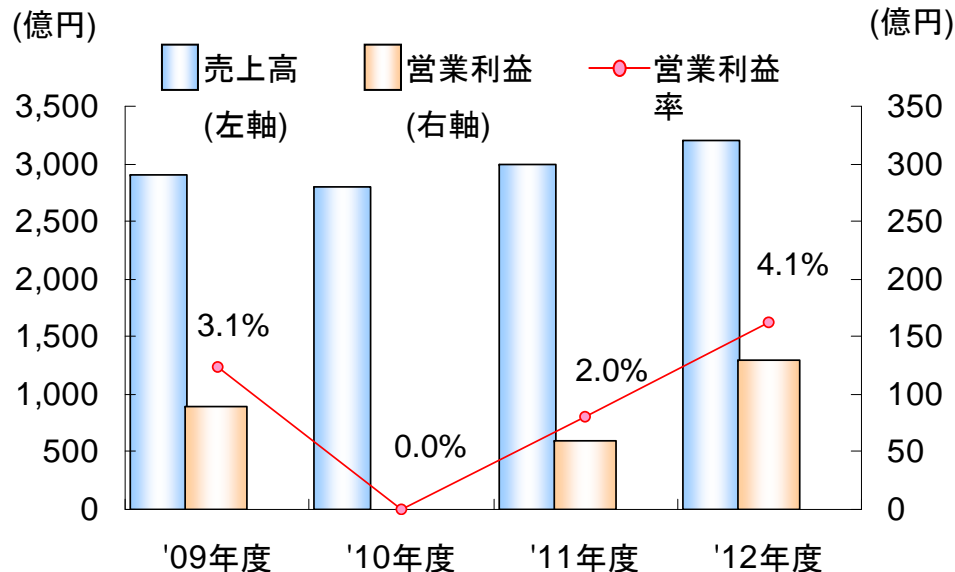
- ✓ 海外拠点・グローバルネットワークの強化
による注力市場の需要取り込み
- ✓ 市場ニーズに即した製品の投入

ターボチャージャにおける海外生産の拡大

- タイにおいてキーパーツの設備投資を実施し、一貫生産体制を構築('11.4月)
- 中国において追加設備投資を決定(旺盛な需要に対応, 35万台(FY10)⇒倍増へ)

熱・表面処理事業のメンテナンス拠点をタイに開設('10.7月)

- 日系メーカーを中心とする納入先へのメンテナンスサービス強化および地元メーカーの掘り起こしを図る
- '10.7月からメンテナンス要員が常駐



基本戦略

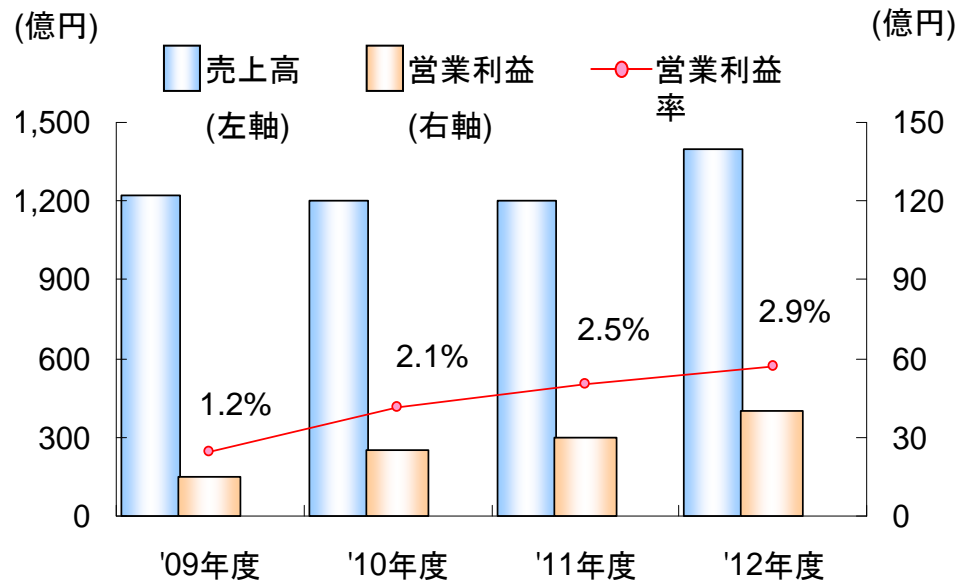
- ✓ アフターサービスの拡大・コストダウンの強化による既存機種収益性向上
- ✓ 市場ニーズに対応した次世代機種開発強化

最新型民間航空機エンジン2機種が開発完了('10.7月)

- 米国連邦航空局から大型航空機用とリージョナル機用エンジンの型式承認を同時に取得
 - GEnx-2B : ボーイング747-8に独占搭載 '11年就航予定
 - CF34-10A : 中国初の旅客機「ARJ21」に独占搭載 '11年就航予定

次期固体燃料ロケットの開発が本格化

- FY13予定の初号機打ち上げに向け、次期小型固体燃料ロケット「イプシロン」の開発推進を政府が承認
- ロケットの人工知能化、低コスト化、打ち上げ作業の簡素化を目指し、JAXAに協力中



基本戦略

- ✓ 市場ニーズに即した製品開発と販売拡大
- ✓ 拡大が見込まれる新興国市場における販売拡大

IHI建機が新型林業機械の開発を完了・販売開始

- 木材運搬作業の効率化を実現, 林野庁の先進林業機械補助事業に採択済
- 販売計画 FY10:20台, FY11:150台

環境規制需要に対応したTierIVエンジンの開発を加速

- 開発中のエンジンの概要 : 56kW未満の産業用ディーゼルエンジン
- '12年量産開始予定



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。